

櫻坂を緩歩中

倍 率

前号の進路通信でお知らせしましたように1月26日（月）に北海道教育委員会のHPにて、道立高校及び札幌市立高校の出願状況（いわゆる「倍率」）の発表があります。

そこで、倍率について解説します。

（例）倍率1.3倍の場合

「1.3人に1人が合格し、0.3人が不合格となる。」意味です。

しかし、人間が1.3人ということはありませんので、10倍しましょう。

「13人に10人が合格し、3人が不合格となる。」と考えるとよいでしょう。

なお、倍率は「出願者数÷募集定員」で求めることができますが、推薦入試を実施する高校の最終倍率は合格内定者となった生徒数を募集人員から差し引き、倍率を計算するため推薦入試を実施しない高校より計算式は複雑となります。

高倍率だと不合格が増え、合格する生徒の割合が少なくなるので、不安なことでしょう。しかし、実力をつけ、入試当日にその力を発揮すれば、おそれることはありません。

例えば、北海道マラソンでは、毎年、17,000人近くの一般市民ランナーが参加します。

しかし、優勝を目指す招待選手達は、どれだけたくさんの一般市民ランナーが参加されてもそれほど気にしないと思います。（トップランナーは自分が優勝する確率が1/17000とは、絶対に思っていないはずです。）

出願校が高倍率であった場合、プレッシャーはかかると思いますが、悩んでいる時間があれば、受験勉強をした方が賢明だと思います。

私立高校の倍率は、計算上2～3倍になる高校が多いですが、2～3人に1人しか合格できないわけではありません。

「公立高校と併願受験し、公立高校へ進学するであろう。」人数も考慮して、合格者数を決めておりますので、私立高校の倍率はほとんど気にすることはありません。

よくある質問

倍率が1.0倍未満（いわゆる「定員割れ」）の場合は、全員合格しますか？

回答

公立高等学校の入学者選抜における志願者が定員に満たない場合の対応等について

高等学校は、出願者が募集人員に満たない場合は、特別の支障がない限り全員を入学させるよう配慮すること。
札幌市教育委員会からの通知文より転記

定員割れした場合、上記の通知文からわかりますように合格する可能性は極めて高いです。（道立高校も原則として札幌市立高校と同基準となります。）

しかし、「特別の支障がない限り」の解釈として、極端に入試得点やランク（学習点）が低く、入学後、学習についてこれないと判断された場合は、合格とならないこともあると考えられます。

@coffee break 両国国技館の東西南北

修学旅行では両国国技館を訪れ相撲観戦をしました。

さて、両国国技館では、呼び出しが「東、●●山、西、●●富士」と呼びますが、東の方角は実際には北なのをご存じですか？

つまり、国技館内の東西南北は実際の東西南北になっておりません。

これには天皇陛下が観覧される貴賓席（ロイヤルボックス）の位置が関係しております。

国技館を建設する際、セキュリティを考慮し、貴賓席を道路側の西としました。しかし、古来から「天子は南面す（てんしはなんめんす）」という言葉があり、天皇陛下は（北を背にして）

南を向いていなければならないという考えがあります。

そこで、国技館内では貴賓席正面の実際は東である方位を南としているのです。（図参照）

最後に両国国技館の住所は「東京都墨田区横綱1丁目」ですが、相撲のイメージが強いためか「横綱1丁目」と記す方が多いそうです。字をよく見てください。「横綱（よこづな）1丁目」ではなく、「横綱（よこあみ）1丁目」なのです。

